

各位

会社名 株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス
 代表者名 代表取締役CEO 吉村 元久
 (コード: 2884、東証プライム)
 問合せ先 取締役CFO 安東 俊
 (TEL. 03-6206-1271)

(訂正)「2021年2月期 決算説明資料」の一部訂正について

2021年4月15日に発表いたしました適時開示資料「2021年2月期 決算説明資料」につきまして、別途、本日(2022年5月11日)開示した「過年度の決算短信等及び有価証券報告書等の訂正に関するお知らせ」の内容に基づき下記のとおり訂正いたします。訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

(訂正前)

2021年2月期 決算サマリ		YOSHIMURA FOOD HOLDINGS	
業績	売上高	292億円	前年同期比 98%
	営業利益	4.8億円	前年同期比 60%
	経常利益	7.5億円	前年同期比 102%
	EBITDA	16.0億円	前年同期比 99%
<small>(注) EBITDAは、営業利益に償却費(減価償却、のれん)、コロナ関連補助金受入およびM&Aにかかる取得費用を加算して算出</small>			
概要	<p><国内事業> 国内製造事業は、プラットフォーム支援により一部子会社の業績が改善し、また、スーパー量販店向けの売上が増加し、増収増益となった。国内販売事業は、生協向けの売上が増加し、産業給食向けの売上が減少し、減収増益となった。その結果、国内事業全体では売上高は前年同水準となり、利益は大幅な増益となった。</p> <p><海外事業> 新型コロナウイルスの影響が継続。スーパー小売店向けの売上は安定的に推移したが、ホテル向け、航空関連向けの売上が低迷し、前年比では大幅な減収減益となった。</p>		
<small>Copyright (C) Yoshimura Food Holdings K.K. All Rights Reserved.</small>		13	

(訂正後)

2021年2月期 決算サマリ		YOSHIMURA FOOD HOLDINGS	
業績	売上高	292億円	前年同期比 98%
	営業利益	5.2億円	前年同期比 65%
	経常利益	7.8億円	前年同期比 106%
	EBITDA	16.0億円	前年同期比 99%
<small>(注) EBITDAは、営業利益に償却費(減価償却、のれん)、コロナ関連補助金受入およびM&Aにかかる取得費用を加算して算出</small>			
概要	<p><国内事業> 国内製造事業は、プラットフォーム支援により一部子会社の業績が改善し、また、スーパー量販店向けの売上が増加し、増収増益となった。国内販売事業は、生協向けの売上が増加し、産業給食向けの売上が減少し、減収増益となった。その結果、国内事業全体では売上高は前年同水準となり、利益は大幅な増益となった。</p> <p><海外事業> 新型コロナウイルスの影響が継続。スーパー小売店向けの売上は安定的に推移したが、ホテル向け、航空関連向けの売上が低迷し、前年比では大幅な減収減益となった。</p>		
<small>Copyright (C) Yoshimura Food Holdings K.K. All Rights Reserved.</small>		13	

(訂正前)

2021年2月期 決算ハイライト



営業利益

国内事業は前年比で大幅に増益となったものの、利益率が高い海外事業の売上が大幅に減少したことで大幅な減益となり、前年同期比 **60%** となる。



(訂正後)

2021年2月期 決算ハイライト



営業利益

国内事業は前年比で大幅に増益となったものの、利益率が高い海外事業の売上が大幅に減少したことで大幅な減益となり、前年同期比 **65%** となる。



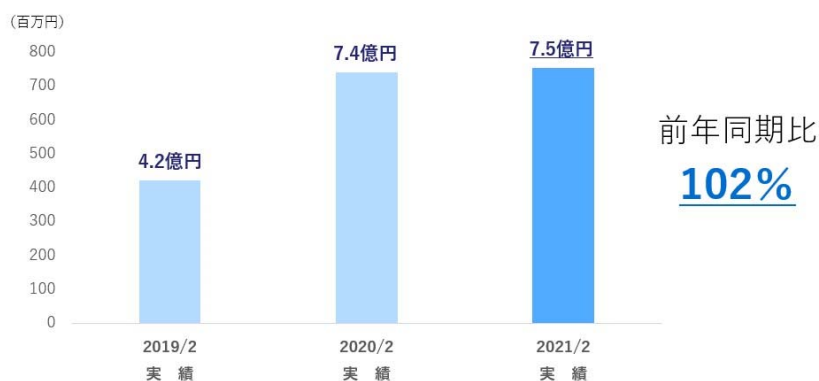
(訂正前)

2021年2月期 決算ハイライト



経常利益

新型コロナウイルスの影響で売上が減少した子会社は、生産調整を実施し、新型コロナ関連の補助金（雇用調整助成金等）を得ること等にて、前年同期比**102%**となる。



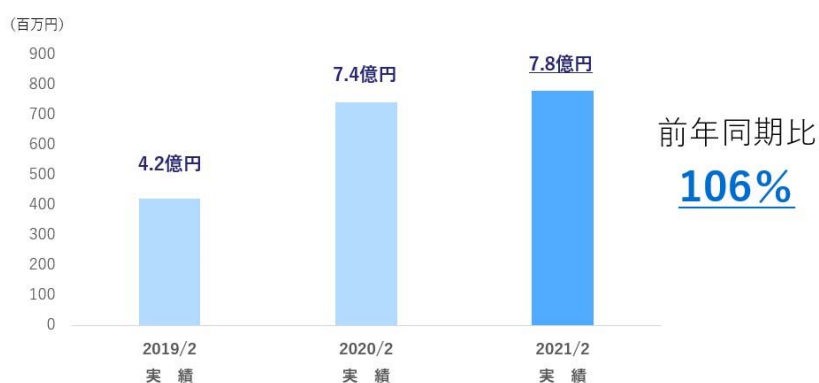
(訂正後)

2021年2月期 決算ハイライト



経常利益

新型コロナウイルスの影響で売上が減少した子会社は、生産調整を実施し、新型コロナ関連の補助金（雇用調整助成金等）を得ること等にて、前年同期比**106%**となる。



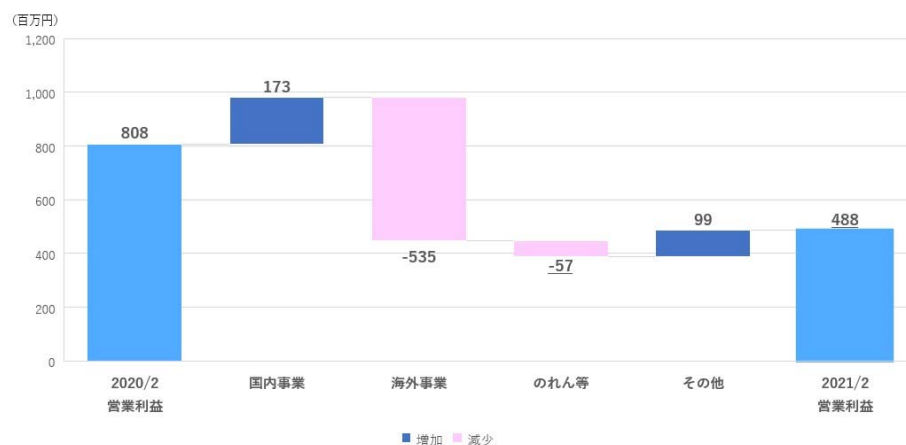
(訂正前)

2021年2月期 決算ハイライト



営業利益分析

国内事業は前年同期比 **+173百万円** と増益となったものの、
海外事業は前年同期比 **△535百万円** と大幅な減益となる。



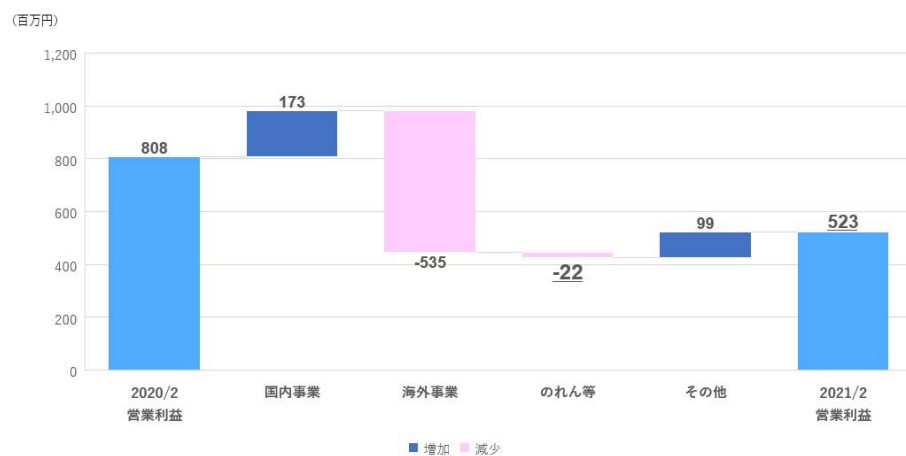
(訂正後)

2021年2月期 決算ハイライト



営業利益分析

国内事業は前年同期比 **+173百万円** と増益となったものの、
海外事業は前年同期比 **△535百万円** と大幅な減益となる。



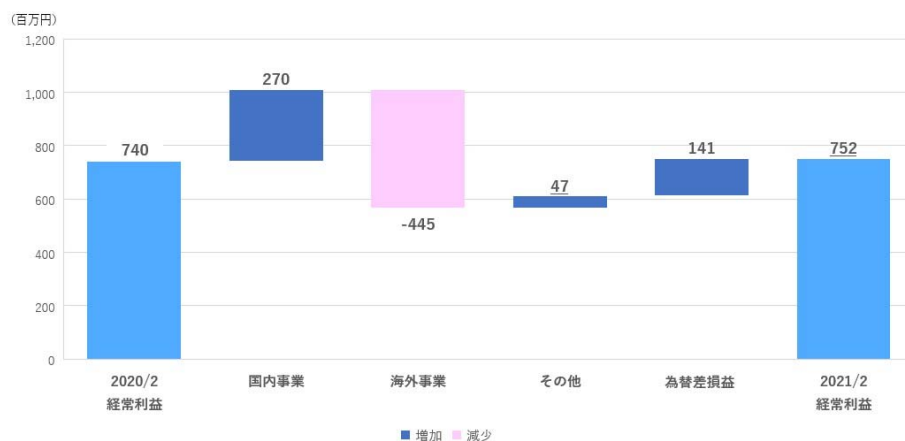
(訂正前)

2021年2月期 決算ハイライト



経常利益分析

国内事業は前年同期比 **+270百万円** と大幅に増益となるも、海外事業は前年同期比 **△445百万円** と大幅な減益となる。



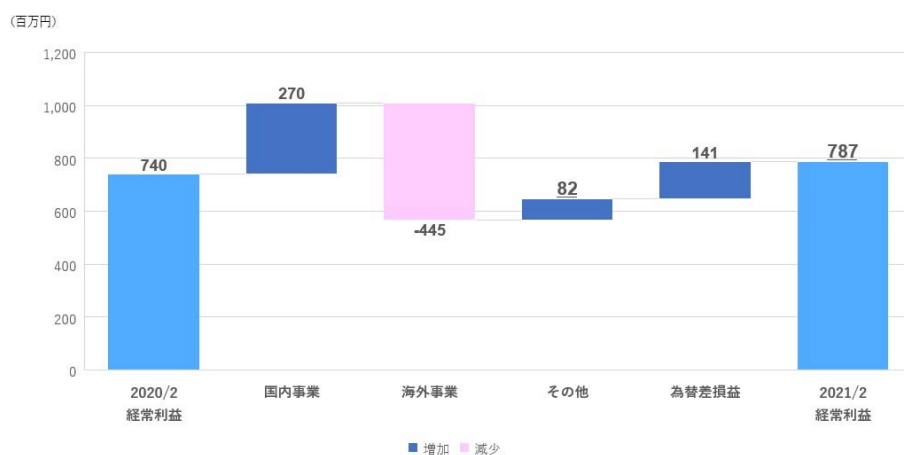
(訂正後)

2021年2月期 決算ハイライト



経常利益分析

国内事業は前年同期比 **+270百万円** と大幅に増益となるも、海外事業は前年同期比 **△445百万円** と大幅な減益となる。



(訂正前)

損益計算書



前年同期比は、売上高98.0%、営業利益60.4%、経常利益101.6%、
当期純利益182.6%、EBITDA99.0%となる。

	2020年2月期		2021年2月期		前年 同期比	(単位：百万円)
	構成比		構成比			
売上高	29,875	100.0%	29,289	100.0%	98.0%	【売上高】 ✓ M&A及び国内事業の増収要因はあったが、新型コロナウイルスの影響で海外事業の減収が影響し減少
売上総利益	6,025	20.2%	6,209	21.2%	103.1%	
販管費	5,216	17.5%	5,721	19.5%	109.7%	【営業利益】 ✓ 国内事業は増益となったが、海外事業が新型コロナウイルスの影響で大幅な減収となったため、減益となる
営業利益	808	2.7%	488	1.7%	60.4%	
経常利益	740	2.5%	752	2.6%	101.6%	【販管費】 ✓ 今期より販管費率の高いNKRを子会社化したため増加
当期純利益	177	0.6%	323	1.1%	182.6%	【経常利益・当期純利益】 ✓ 海外事業が苦戦する中、国内・海外ともに雇用調整助成金等の補助金収入を得ることで増益
EBITDA	1,623	5.4%	1,607	5.5%	99.0%	

(注) EBITDAは、営業利益に償却費（減価償却、のれん）、コロナ関連補助金収入およびM&Aにかかる取得費用を加算して算出

Copyright (C) Yoshimura Food Holdings K.K. All Rights Reserved.

23

(訂正後)

損益計算書



前年同期比は、売上高98.0%、営業利益64.8%、経常利益106.4%、
親会社株主に帰属する当期純利益235.8%、EBITDA99.0%となる。

	2020年2月期		2021年2月期		前年 同期比	(単位：百万円)
	構成比		構成比			
売上高	29,875	100.0%	29,289	100.0%	98.0%	【売上高】 ✓ M&A及び国内事業の増収要因はあったが、新型コロナウイルスの影響で海外事業の減収が影響し減少
売上総利益	6,025	20.2%	6,209	21.2%	103.1%	
販管費	5,216	17.5%	5,685	19.4%	109.0%	【営業利益】 ✓ 国内事業は増益となったが、海外事業が新型コロナウイルスの影響で大幅な減収となったため、減益となる
営業利益	808	2.7%	523	1.8%	64.8%	
経常利益	740	2.5%	787	2.7%	106.4%	【販管費】 ✓ 今期より販管費率の高いNKRを子会社化したため増加
親会社株主に帰属する当期純利益	177	0.6%	417	1.4%	235.8%	【経常利益・当期純利益】 ✓ 海外事業が苦戦する中、国内・海外ともに雇用調整助成金等の補助金収入を得ることで増益
EBITDA	1,623	5.4%	1,607	5.5%	99.0%	

(注) EBITDAは、営業利益に償却費（減価償却、のれん）、コロナ関連補助金収入およびM&Aにかかる取得費用を加算して算出

Copyright (C) Yoshimura Food Holdings K.K. All Rights Reserved.

23

(訂正前)

貸借対照表



第三者割当増資の実施により、自己資本比率は19.4%（前年同期比+5.1%）へ改善。

	2020年2月期	2021年2月期	前期末増減額	(単位：百万円)
流動資産	14,148	14,828	+680	【流動資産】 ✓ 第三者割当増資、売掛金の回収、棚卸資産の圧縮により現金及び預金が増加
現金及び預金	3,015	4,942	+1,927	
売掛金	5,585	4,973	△611	
たな卸資産	5,350	4,681	△669	
その他流動資産	197	231	+34	
固定資産	9,729	8,806	△922	【固定資産】 ✓ 減価償却等に伴う有形固定資産の減少 ✓ のれん償却に伴う無形固定資産の減少
有形固定資産	4,128	3,843	△284	
無形固定資産	4,811	4,264	△546	
投資その他の資産	789	698	△91	
資産合計	23,877	23,635	△241	
流動負債	9,749	7,009	△2,740	【流動負債】 ✓ 短期借入金を長期借入金に借り換えたことで減少
買掛金	2,757	2,465	△292	
短期借入金	3,039	718	△2,320	
1年以内返済予定長借	1,513	1,739	+225	
その他流動負債	2,438	2,085	△352	
固定負債	7,449	8,821	+1,371	【固定負債】 ✓ 短期借入金を長期借入金に借り換えたことで増加
長期借入金	7,119	8,621	+1,501	
その他固定負債	330	200	△129	
負債合計	17,199	15,831	△1,368	【純資産】 ✓ 第三者割当増資及び当期純利益により増加
純資産	6,678	7,804	+1,126	
負債・純資産合計	23,877	23,635	△241	

Copyright (C) Yoshimura Food Holdings K.K. All Rights Reserved.

25

(訂正後)

貸借対照表



第三者割当増資の実施により、自己資本比率は23.6%（前年同期比+5.7%）へ改善。

	2020年2月期	2021年2月期	前期末増減額	(単位：百万円)
流動資産	14,148	14,828	+680	【流動資産】 ✓ 第三者割当増資、売掛金の回収、棚卸資産の圧縮により現金及び預金が増加
現金及び預金	3,015	4,942	+1,927	
売掛金	5,585	4,973	△611	
たな卸資産	5,350	4,681	△669	
その他流動資産	197	231	+34	
固定資産	9,187	8,321	△865	【固定資産】 ✓ 減価償却等に伴う有形固定資産の減少 ✓ のれん償却に伴う無形固定資産の減少
有形固定資産	4,128	3,843	△284	
無形固定資産	4,252	3,762	△490	
投資その他の資産	806	715	△91	
資産合計	23,335	23,150	△184	
流動負債	9,749	7,009	△2,740	【流動負債】 ✓ 短期借入金を長期借入金に借り換えたことで減少
買掛金	2,757	2,465	△292	
短期借入金	3,039	718	△2,320	
1年以内返済予定長借	1,513	1,739	+225	
その他流動負債	2,438	2,085	△352	
固定負債	7,449	8,821	+1,371	【固定負債】 ✓ 短期借入金を長期借入金に借り換えたことで増加
長期借入金	7,119	8,621	+1,501	
その他固定負債	330	200	△129	
負債合計	17,199	15,831	△1,368	【純資産】 ✓ 第三者割当増資及び当期純利益により増加
純資産	6,135	7,319	+1,183	
負債・純資産合計	23,335	23,150	△184	

Copyright (C) Yoshimura Food Holdings K.K. All Rights Reserved.

25

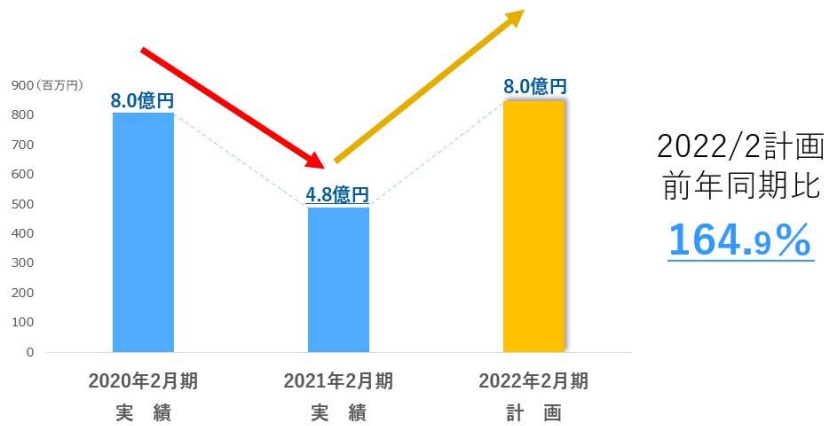
(訂正前)

2022年2月期 業績計画ハイライト



営業利益

国内事業は業績向上、海外事業は前期の大幅減益から緩やかな回復基調に転じると想定し、前期比164.9%の計画



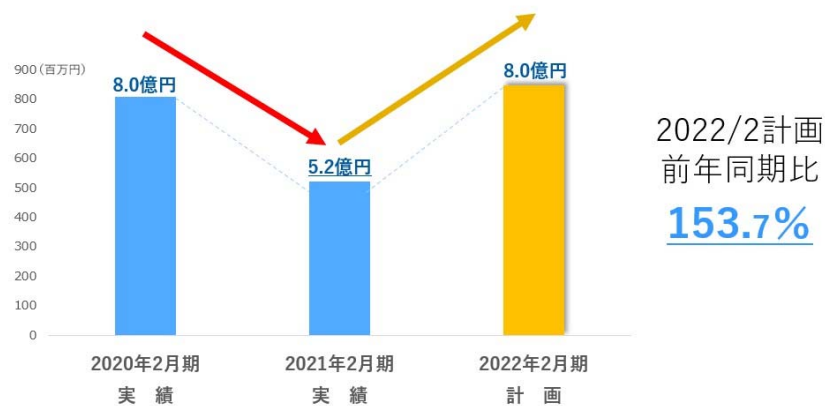
(訂正後)

2022年2月期 業績計画ハイライト



営業利益

国内事業は業績向上、海外事業は前期の大幅減益から緩やかな回復基調に転じると想定し、前期比153.7%の計画



(訂正前)

2022年2月期 通期業績見通し



国内事業、海外事業共に増収増益を見込む。海外事業は新型コロナウイルスの影響が継続することを前提とし、緩やかな回復を見込んでいる。なお、**新たなM&Aによる成長**は含めていない。

	2021年2月期		2022年2月期 (業績見通し)		前年比	(単位：百万円)
	構成比		構成比			
売上高	29,289	100.0%	30,607	100.0%	104.5%	【売上高】 ✓ 国内事業は、市販用は引き続き好調に推移し、業務用は徐々に回復することを見込む。 ✓ 海外事業は、直近の状況が継続し、下半期から緩やかな回復を見込む。
営業利益	488	1.7%	805	2.6%	164.9%	
経常利益	752	2.6%	811	2.7%	107.8%	
当期純利益	323	1.1%	346	1.1%	107.2%	【営業利益】 ✓ 国内事業は、シナジー効果による増益を見込む。 ✓ 海外事業は、売上の回復による増益を見込む。
EBITDA	1,607	5.5%	1,670	5.5%	104.0%	

(注) EBITDAは、営業利益に償却費（減価償却費、のれん）、コロナ関連補助金収入およびM&Aにかかる取得費用を加算して算出

(訂正後)

2022年2月期 通期業績見通し



国内事業、海外事業共に増収増益を見込む。海外事業は新型コロナウイルスの影響が継続することを前提とし、緩やかな回復を見込んでいる。なお、**新たなM&Aによる成長**は含めていない。

	2021年2月期		2022年2月期 (業績見通し)		前年比	(単位：百万円)
	構成比		構成比			
売上高	29,289	100.0%	30,607	100.0%	104.5%	【売上高】 ✓ 国内事業は、市販用は引き続き好調に推移し、業務用は徐々に回復することを見込む。 ✓ 海外事業は、直近の状況が継続し、下半期から緩やかな回復を見込む。
営業利益	523	1.8%	805	2.6%	153.7%	
経常利益	787	2.7%	811	2.7%	103.0%	
親会社株主に帰属する当期純利益	417	1.4%	346	1.1%	83.0%	【営業利益】 ✓ 国内事業は、シナジー効果による増益を見込む。 ✓ 海外事業は、売上の回復による増益を見込む。
EBITDA	1,607	5.5%	1,670	5.5%	104.0%	

(注) EBITDAは、営業利益に償却費（減価償却費、のれん）、コロナ関連補助金収入およびM&Aにかかる取得費用を加算して算出

(訂正前)

業績及びM&A件数の推移



M&A実行件数は毎期1～3件で推移。M&A実行数に伴い業績も増加傾向。前期は新型コロナウイルスの影響でM&A件数、業績共に苦戦。

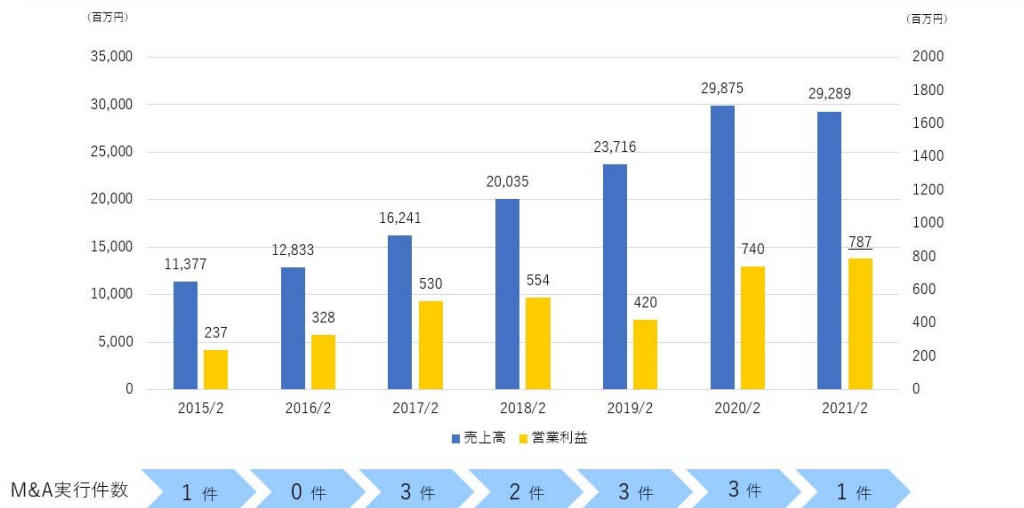


(訂正後)

業績及びM&A件数の推移



M&A実行件数は毎期1～3件で推移。M&A実行数に伴い業績も増加傾向。前期は新型コロナウイルスの影響でM&A件数、業績共に苦戦。



以上